

県工事事事故防止 へのご協力をお願いします！

県では、「第6次県工事事事故防止対策推進計画」及び「令和5年度工事事事故防止対策事業計画」を策定しました。事業計画では、工事事事故の発生傾向を踏まえ、事務所ごとに安全管理目標及び具体的な取組を定めて重点的に実施していくこととしております。

このことから、住宅課では、下記の安全管理目標を設定し、目標達成のための具体的な取組を掲げ、事故防止に取り組んでいくこととしましたので、皆様のご協力をお願いします。

また、実際にあった県工事事事故事例、安全管理目標に関連する厚生労働省の安全衛生各種リーフレットを紹介いたしますので、職場における安全管理意識の啓発等にご活用願います。

安全管理目標(数値目標)

労働・公衆災害 入居者がいる中で工事するため、「交通事故」・「落下事故」の件数「0件」を目指す。

具体的な重点取組

- 打合せ時に監督員より
 - ① 安全教育等における事故防止の教育実施を指示する。
 - ② 県営住宅工事特有の注意点等を施工者と共有する。
 - ③ 災害発生時の対応を確認し、報告の厳守を指示する。
- 監督職員等の現場点検, 安全パトロールを通じて「事故防止装具(フルハーネス、防滑靴、保護帽等)使用」、「作業現場の整理整頓」を注意喚起する。
- 掘削作業時に埋設物破損事故が生じないように、事前の埋設状況確認を徹底する。

事件事例紹介

- ◇ 団地内の駐車場において、発進した際にハンドルを早くきりすぎたため、隣に駐車していた車に接触した。
- ◇ 重機を移動させている際、電話線に重機のアームが引っかかり破損した。
- ◇ 防露パネル設置工事中、誤ってパネルを落下させてしまい、住宅の窓ガラスに当たり破損した。

リーフレット等紹介(厚生労働省)

足場からの墜落防止のための措置を強化します

検索

足場を安全に使用いただくためのH27年改正労働安全衛生規則の改正内容を紹介しています。

安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

検索

建設業等の高所作業において使用される安全帯のH30年改正、ガイドラインの内容・ポイントがわかります。

はしごを使う前に／脚立を使う前に

検索

はしご、脚立の使用前チェックリストとなっております。ぜひご利用ください。

職場のあんぜんサイト

検索

職種に応じた労働災害事例の紹介、安全衛生の動画教材での学習ができます。

